

## 二つの鉄道と旅石引込線 海軍炭鉱・国鉄炭鉱の遺跡群 (8)

大正十三年（一九二四）発行の『糟屋郡志』の鉄道の項は、九州鉄道、博多湾鉄道、筑前参宮鉄道の三つの会社を取り上げています。当時、九州鉄道は省線鹿児島本線と篠栗支線（現・福北ゆたか線）となっていました。九州鉄道は国有化され、鉄道省の意味で「省線」と呼んだのです。

博多湾鉄道が現在のJR香椎線で、明治三十五年（一九〇二）五月着工、三十七年一月一日に西戸崎・須恵間が竣工、三十八年十二月までに須恵・新原・宇美間が開通し、四十二年八月から大正四年三月の間に、酒殿・旅石間の分岐線が開通しました。『糟屋郡志』は「全線十マイル、ことごとく本郡内にあり。駅数十二」と記しています。本線に西戸崎・奈多・和白・香椎・土井・伊賀（長者原駅を改称）・酒殿・須恵・新原・

宇美の十駅。酒殿からの分岐線には志免・旅石の二駅がありますが、どちらも海軍炭鉱の石炭運送が目的で乗客は取り扱わないことになっていました。

また筑前参宮鉄道はその名のとおり、宇美八幡宮参拝者の便宜を図ったものですが、石炭運送も大きな目的のひとつでした。吉塚・宇美間に亀山・南里・新志免（博多湾鉄道志免駅に隣接）・下宇美・上宇美・筑前勝田の六駅がありました。

志免駅は明治四十二年八月、旅石駅は大正四年三月、新志免駅は大正八年九月に開通しましたが、現在はいずれも廃止されています。

地図1は『志免研究』第二七号（志免技術研究会発行）の付図で、酒殿駅から旅石駅への分岐線が「貨物引込線」として描か

れています。地図2は須恵村の村勢要覧の図で旅石駅が記されています（『須恵町誌』二七七頁）。写真1は福岡ルクル側から五坑ボタ山方向に引込線の橋脚跡を写しました。志免鉄道公園の東側を経て、ニューライフ須恵・須恵第三小学校へと続く一本道が旅石駅付近の廃線跡になります。

写真2は地図2に書き込まれた海軍第六坑の坑口です（出典は『国鉄志免炭鉱売山反対 闘争写真集』国鉄労組門司地方本部志免支部情宣部発行）。横書きで右から左に「海軍炭山」、縦書きで「第六坑」と書かれたプレートが見えます。第六坑跡、旅石跡、引込線跡など、須恵町内の遺跡にはいずれも記念碑や説明板がなく、昔の姿を想像することがむずかしいのは残念です。



地図1



写真1

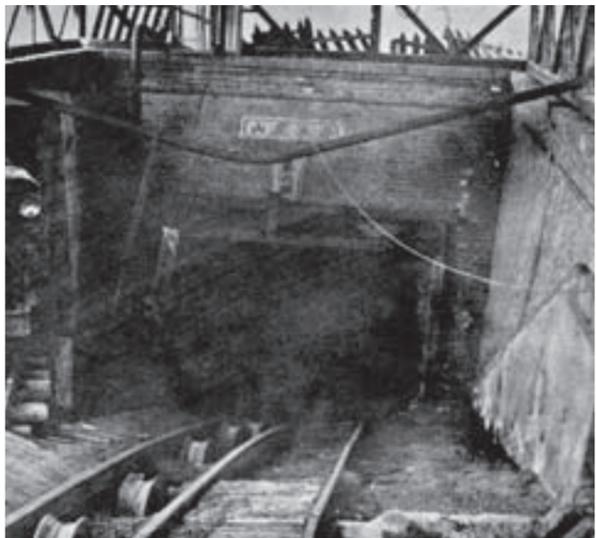


写真2



地図2